

市民アンケート調査の自由意見について

1 はじめに

市民アンケート調査の自由意見について、政策項目ごとに分類したうえで、意見の傾向とその主な意見を抽出した。

2 自由意見に関する全体の傾向

政策項目別に分類したところ「子育て支援の充実」「観光の振興」「就業・雇用支援」「協働のまちづくりの推進」に関するものが多い。特に「子育て支援の充実」がより多く意見があったことから、市民の関心があるものと考えられる。

3 主な自由意見について

■基本目標 1：支え合い安心して暮らせる思いやりのまちづくり

[保健・医療の充実]

○村上病院や休日夜間診療に関する意見が多い。

- ・村上病院を早く完成させてほしい。(30代男性・村上)
- ・高齢者から子ども、全ての世代において休日・夜間の患者の受入体制をしっかりとしてほしい。村上病院を早く新しくできるよう、行政も協力して確実に 5 年後に移転し、急患対応をもっとよくできるようにしてほしい。(30代女性・朝日)
- ・遠方へ仕事に行っているため、帰ってくると医者、病院が開いていないため、休日に行くか仕事を休まなければいけないことが一番の悩み。同時に小児科が少ないので子どもが病気になったときにすぐに仕事を休まなければいけない。(30代女性・荒川)

[高齢者支援の充実]

○介護予防に関する意見が多い。

- ・高齢者の独り暮らしを見守る体制をつくる。デイサービスなど、高齢者の受け入れ施設を増やす。(50代女性・村上)
- ・障害のない 1 人暮らしの老人が気軽に集まれる施設があればいいと思います。(60代男性・村上)
- ・高齢化が進行しているので、介護予防活動を充実させてほしいと思います。買い物に不便で困る高齢者も多いように思います。自分のこととして、老後の生活は不安です。(30代女性・朝日)
- ・高齢者施設が不足しており、施設が増えれば雇用の場も増えますが、介護職が増えれば、子育てがしづらい人も増えてしまうのではないかと思います。高齢者が健康維持し、今の 60～70 代の方々が認知症予防に関心を持って力を入れていく取り組みが各地域に合った形で盛り上がっていったらよいと考えます。(30代女性・山北)

[障害者支援の充実]

○次の点が挙げられている。

- ・障害者に対する雇用の場や相談の場をもっと増やしてほしい。(30代女性・村上)

[子育て支援の充実]

○産婦人科の確保や遊び場（屋内含む）の整備などに関する意見が多い。

- ・市内に産婦人科をもっと増やしてほしい。(30代女性・村上)
- ・市内には充実した公園がなく、1日いっぱい遊ばせたいときは市外に出るしかない。冬季も長いので、屋外だけでなく屋内の充実した遊び場があるとよい。(30代女性・村上)
- ・病児保育と言っても、病期中（軽症になったとき）は対象とならないので、どうしても仕事が休めない時に見てくれる施設があるとよい。(30代女性・荒川)
- ・母親が、小さい子供を遊ばせて、コミュニケーションを取れる場が必要である。(40代男性・荒川)

[生活支援の充実]

○次の点が挙げられている。

- ・昨今、生活保護を受けている方でなぜ対象となるのかと疑問に思うことがある。(18～29歳女性・村上)

■基本目標2：自然と景観を守る環境に優しいまちづくり

[自然環境の保全]

○自然環境の保全や洋上風力発電などに関する意見が見られる。

- ・時々近くの海岸へ子どもたちを連れて遊びに行きますが、ごみが多く、どうにかならないかな…という思いがしています。子どもも含め海岸でのゴミ拾い等の活動があれば参加したいと思っています。(30代女性・村上)
- ・村上の自然は残っていてほしいです。(30代女性・朝日)
- ・洋上風力発電予定地の近くに住んでいるので、低周波とかが心配です。大丈夫なんでしょうか。(30代女性・村上)

[生活環境衛生の確保]

○空き家やごみ、悪臭対策などに関する意見が見られる。

- ・汚れている空き家を、取り壊しも含めた措置を行ってほしい（特に観光客が通るような場所を中心に）。また、歩道上にごみが落ちていることが多々あるため、ゴミ拾いなどの清掃活動をより一層推進して欲しい（駅付近の歩道）。(18～29歳女性・村上)
- ・悪臭対策や夜間の騒音の取り締まり（バイク）をしっかりとしてほしい。(70歳以上女性・村上)

[上水道整備の推進、汚水処理対策の推進]

○次の点が挙げられている。

- ・上下水道整備、衛生的にも向上しつつありますが、各個人宅の工事がされていないのが目立ちます。市のほうで何らかの対策が必要かと思えます。(60代女性・村上)
- ・水道料が高い。上下水道料金を安くしてほしい。老後が心配。年金では生活できない。(60代男性・山北)

■基本目標3：活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり

[農業の振興]

○就農支援や地産地消などについて意見が見られる。

- ・農業に参加したい若者へきっかけづくりを企画し、就農の支援を考えてもらいたいです（所得補償、住宅補助、技術指導等）。(30代男性・村上)
- ・地場産の野菜や米などを使い、作った料理が食べられる店があればいいと思う。道の駅のようなところにレストランがあってそこで食べた料理がおいしくて使っている食材が隣の店で売ってれば、その食材も売れると思う。(50代男性・村上)
- ・地産地消を進める。連携を図る。(50代男性・朝日)

[林業の振興]

○振興策に関する意見が見られる。

- ・林業の衰退により、山間集落はただの不便な地域になっている。森林からの恵みを享受できるシステムづくりをしないと限界集落の増加に歯止めがかからない。(40代男性・神林)

[水産業の振興]

○次の点が挙げられており、一次産業全体に共通する。

- ・働く場所の確保、農業・林業・漁業等の活性化を行ってほしい。(50代女性・朝日)

[商工業の振興]

○若者や高齢者ニーズに合った店舗・施設の不足に関する意見が多く、若者の創業のきっかけづくりに関するものも見られる。

- ・夫の転職に伴い、実家のある村上に引っ越してきました。義母・父や近所の方などの交流が広がり、町内の方とのふれあいがうれしく思います。その反面、買い物となると、やはり新発田市や新潟市へ出かけてしまいます。お店の種類や施設など、子育て世代には物足りないような気がしてしまいます。もう少し魅力のある町・市になっていってもらえると、若い世代も村上市にて移住したいと思うのではないのでしょうか。(30代女性・村上)
- ・新潟まで行かなくても村上にあると楽しめる施設（映画館、プール、クライミング、娯楽スポーツ）などが近くにあると便利。子どもから大人まで楽しめる、家族で出かけることもできる。働く場も増えるから若者も地元に残りやすくなると思う。また、オーナーさんがいて、店長などをまかせてもらえる店をたくさん作る。それらの店や地元の店がたくさん入ったショッピングモールを建てる。自分のお店や商売をやりたくても資金や自信がないなどで実現できない人でも始めるきっかけになるから夢が広がる。任された店をいずれ自分のものにもできると良い。(40代女性・村上)
- ・イベント期間だけでも、まちなかの店先を若者のチャレンジショップとして貸し出す。(40代女性・村上)
- ・私は今70代に入ったばかりですが、今のところ車で新潟あたりまで行けますが、これから高齢になり、生きている限り毎日の生活の中で郵便局でのお金の出入などが不便な私たちの集落では先が思いやられます。セブンイレブンのようなコンビニが一つで

もあつたらいろいろな面で便利になるので、ぜひあつてほしいと願っております。まちづくりといっても、やはり自分たちの町が一番大切です。少しでも生活しやすいように過疎化の町のことも考えてほしいと思います。(60代女性・村上)

[観光の振興]

○歴史や文化、豊かな自然を生かした観光に関する意見が多い。

- ・歴史的、伝統的な建造物や文化的な取り組みをもっと積極的に支援していけば、村上市が特色ある市として観光的にも、子どもの教育的にも定住を考える人にとってもプラスになると思う。(18～29歳男性・村上)
- ・村上に嫁いで30年、以前と比べると町並みも整い、人形様祭り、屏風祭り、竹灯籠と行事も増え、活気づいたように思います。観光客の姿も多く見かけるようになりました。(50代女性・村上)
- ・村上には自然豊かな場所がたくさんあります。海の幸、山の幸にも恵まれています。(60代女性・村上)
- ・海、山、川、自然、町屋、特産物、(酒、鮭、牛とか)がこれほど豊富なまちはなかなかないと思います。だけど、これらがつながって一大観光につながっていない、旧市町村のみで盛り上がっているイメージが強いです。本当は違うのかもしれないが、表だって見えてこない。合併して、更に観光財産が増えたのだから、観光コースを何個も作る。四季ごとに作ってやったら、ものすごく儲かる町だと思います。旧市町村あるいは観光を商売にしている人たちなどの横のつながりをもっとしっかり手をつないで一大ムーブメントをおこしてほしい。何も施設をつくらなくても、儲かる町になると思っています。(30代女性・荒川)
- ・村上市として合併したが、自分の住んでいるところ以外の旧市町村のことを良く知らない。観光客を呼べるようなイベント、まちづくりの前に、自分たちが自分たちの市のことを知る必要があるのではないだろうか。それぞれの旧市町村でやっているイベントに、地元だけでなく村上市全域から参加するようになると思う。そこから村上市以外の人もたくさんの観光客がやってくるのではないだろうか。地元民が魅力を感じない街には観光客も魅力を感じられない。(40代女性・荒川)

[就業・雇用の支援]

○若者や子育て世代の働く場の確保、企業誘致に関する意見が多い。

- ・高校を卒業してしまうと、若い人たちは県外へと出ていくので、大学・高校卒業後のUターン就職の支援をもっとしていくべきだと思います。(18～29歳女性・村上)
- ・安心して子育てできる町でなければ、人口は増えないと思う。そのためには、働く場の確保、職場の待遇改善、子育てする家庭に対する企業の理解が必要。(40代女性・村上)
- ・もっと子育て世代が働きやすい職場があつた方がいい。働けるところがいっぱいあるといい。(30代女性・神林)
- ・新しいものを作ることも大切だが、今あるものを充実させることも重要だと考える。子育てにしる高齢者福祉にしる、関わっている人の労働環境の充実(給与や人材教育)を求めたい。住んでよかったと思うまちづくりに大切なのは人だと思うので、お互いに支え、助け合える環境を作っていけるようにしてほしい。(30代男性・荒川)
- ・村上市の特産品を生かした工場の誘致や、国・県が推進している発展成長産業の工場

建設等を充実させて若者の雇用を安定させてほしい。都市並みの景気回復を労働者が実感できるような経済面の発展がなかったら、どんどん若者は流出してしまうと思います。(50代女性・神林)

■基本目標4：安全で快適な住みよいまちづくり

[道路の整備]

○除雪に関する意見が多い。

- ・冬の除雪が合併してからほとんど通らなくなった。もっと除雪してほしい。(18～29歳女性・荒川)
- ・通学路の歩道が狭いため、安全に子供たちが歩けない場所がある。道幅を広げることだけが町の活性化につながるとは限らないとも思うので、しっかり住民の意見を聞いてください。(30代男性・村上)
- ・県や国にも言えますが、道路の樹木の整備をしていただきたい。伸びた枝で道路標識も見えず、観光客には不親切です。合併してよくなったと聞いたことが無いので、住み心地の良い村上市、また村上に来たい、と思うような街になればうれしい。(50代女性・村上)

[安全なまちづくりの推進]

○防犯や防災に関する意見が見られる。

- ・この村上に住み続けていますが、旧市街地や旧商店街、農村部の旧集落に、更地や空き家、空き店舗がどんどん増えているように思います。そしてここに住んでいる人は老人が大変多いように思います。私の集落も子どもの数は多い集落ですが、周りには数えるほどの子どもしかいません。ほとんどは新しくできた団地にいます。このような事は村上に限ったことではないのですが、若い世代と老人世帯の住み分けが進むと防犯、防災でも問題だと思えます。人口の減少は、これから大きな問題を商業活動、食料の生産、不動産、行政、生活に影響が大きくなると予想されます。特に急激な減少はその地域の破綻につながると思います。(60代男性・村上)
- ・地域住民がつながり支え合っていくような体制を作りあっていくこと。災害に備えたり何かあったときにはお互いの力になれるような環境づくりをすることが大切だと思います。(70歳以上女性・村上)

[良好なまちづくりの推進]

○コンパクトなまちづくりに関する意見が見られる。

- ・一層コンパクトなまちづくりが浸透すればよいと思います。他県から来たものからすると、どうしてもこの点を感じてしまいます。(30代男性・荒川)

[公共交通の充実]

○公共交通の利便性向上、自動車を利用できない人のサポートに関する意見が見られる。

- ・イオンのバスのような、無料または低価格の路線バスが坂町～山北まで乗車できたら地域の交流ができそう。(50代女性・村上)
- ・もっと公共交通(特に路線バスやJR)を充実させてほしい(本数を増やすなど)。(18～29歳女性・朝日)
- ・運転免許のない人の交通手段を確保してほしい。(50代女性・朝日)
- ・自動車がないと生活できない。(50代女性・山北)

■基本目標5：豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり

[学校教育の充実]

○小学校の統合やキャリア教育に関する意見が見られる。

- ・(他地域に比べて)子どもの学力が低いと思われる。特に数学と英語。改善が必要(子どもはもちろん、親の意識の変化を促すべき)。(30代男性・村上)
- ・小学校の合併は必須。次世代の子どものため。(30代男性・荒川)
- ・広い村上市である。それぞれの地区の特色を生かして、市民が誇りを持って生活できる市政をお願いしたい。食べ物には不自由しないが、自分たちに価値を見いだせないでいるのが現状ではないかと思います。小さいころからのキャリア教育とともに、今、大人たちの意識を変える取り組みをみんなで考えていきましょう。(50代女性・朝日)

[生涯学習の充実]

○子供向けの学習や図書館に関する意見が見られる。

- ・子供向け生涯学習教育として、地元の自然に親しむ活動をもっと取り入れてほしい。若い親世代にも進めたらどうでしょう。自然にしても文化財にしても、本物を残してほしいです。(18～29歳女性・村上)
- ・図書館を充実してほしい。年中無休にして勤労者への利便性を図ってほしい。蔵書数を増やしてほしい。IT関係の部屋を作ってほしい。パソコン持込み等。(70歳以上女性・村上)

[文化・芸術の振興]

○歴史や文化の継承に関する意見が多く見られる。

- ・伝統文化を残していくことを前提に小学校・中学校で各地域の歴史・文化・特色を学び、育てることが大事。少子化の中で各地域に合った統廃合はやむを得ない。村上市全体も大事であるが、各地域、集落の伝統行事、文化、イベントをしっかりと発信し、継承していき、交流も必要であると思う。歴史・伝統のあるまちなのに、それに気付かないでいるのはもったいない。まずは子どもの声、笑顔のあふれたまちにするためには何が必要かを考えることが大事であろうと思う。(40代男性・村上)
- ・お祭りはずっと保存して行ってほしいと思います。(40代女性・神林)

[スポーツの振興]

○子どもの活躍の場や健康づくりに関する意見が見られる。

- ・子供たちがスポーツで活躍できる場があると、市外などから試合等で村上市に来てもらうことができる。(40代女性・村上)
- ・健康寿命を延ばすためにも、愛ランドあさひのようなスポーツクラブの支援に力を入れてもらいたいと思います。(50代女性・朝日)

■基本目標6：簡素で効率の良い行政経営

[組織・職員改革]

○職員の意識や技術向上に関する意見が見られる。

- ・市職員の皆様には、市民をぐいぐいと引っ張っていくような存在であってほしいと願います。(40代男性・村上)
- ・村上市のモデルになるような市町村を見学してみるのもよいのではないか(海外も含め)。(50代女性・荒川)

[財政改革]

○財政コストの削減に関する意見が見られる。

- ・これから税収が減っていく中で、コスト意識を持たなければいずれ市政は成り立たなくなっていくでしょう。もっと将来に対する危機意識をもって真剣に取り組んでほしい。(30代男性・村上)
- ・選択と集中。どこにお金をかけるべきかよく考える。(30代男性・神林)

[行政サービス改革]

○行政の見える化や市民が声を出しやすい環境づくり、行政サービスの低下などに関する意見が見られる。

- ・いろいろな取り組みをしている様子が見えるが、あまり内容的な部分が見えないような感があります。もっとわかりやすく見える化していただきたい。市と民間企業とで連携して専門的な取り組みを深く掘り下げて一つ一つじっくり取り組んでもらいたいです。そして結果報告等の仕方をもっとアピールしていただきたい。(40代男性・村上)
- ・行政は補助金を出すだけでなく、市民が声を出しやすい環境(公聴会やまちづくりに関する意見交換会等)を整備し、まちづくりを市民と行政が一体化できるような施策を提案できるようになることが望ましい。(30代男性・朝日)
- ・山北は本所より一番離れています。行政のサービスも良いとはいえません。だんだん不便で住みにくくなっているのが現状です。少子高齢化が進んでいますが地域が支所よりも遠いのになおさら本所に行く機会もありませんが、全部中央に集中しています。市ではそのようなことを打開しようとしているのか知りたい。(60代女性・山北)

[施設改革]

○次の点が挙げられている。

- ・市で管理している公共施設が点在しているので、各エリアごとに集約して分かりやすくした方が良いのでは。引っ越してきた人などはどこにどのようなものがあるのかわかりづらく、困っているという話も聞きました。(40代男性・村上)

■基本目標7：市民と行政の協働による行政経営

[市民協働のまちづくりの推進]

○住民参加の促進など推進するうえでの課題に関する意見が多く、協議会間の交流、地域の独自性に関する意見も見られる。

- ・村上市をよりよくするためにはまちづくりの住民参加を促進させることが最重要だと考えています。そのため町内ぐるみでイベントを企画・実行するなど、最初は小さい規模のものでも良いので住民一人ひとりが「村上市をよくしたい」と思えるような機会を設ける必要があると思います。(18～29歳男性・村上)
- ・まちづくり推進協議会が発足し、イベント等を通じ、地域内の交流機会は増えたが、委員や集落担当者が会議や運営に割かれる時間が増え、負担が増大している。そのあたりのケアも考慮して欲しい。(50代男性・村上)
- ・村上市は海・山・祭りと様々な特色を持つ市である。他の地区のまちづくりの活動に参加したりできれば、まちづくりが活性化されるのではないか。例（・駅伝の強化のため、まちづくりを利用して健康増進する活動に他地区から参加する。・三面小屋（山登り）整備に他地区から参加を求める。など）。(30代男性・村上)
- ・村上市は合併により地域が広大になり過ぎた。それぞれの特徴にあった地域づくりを目指すべきと考えます。(50代男性・荒川)
- ・村上市がどのようなまちづくりを目指しているのかが見えない。各地域まかせ、総花的な支援のように思える。(地域の特色を生かしたという表現なのだろうが) こんな小さな市なのだから、バラバラでやっていたら何の魅力もない中、中途半端なものとなる。だから若者は離れるし、新しい人も入ってこない。地域的なつながりも大切だが、村根性で閉鎖的な面も外から見ると感じる面もあり、様々な既存のものに縛られず、大きな方向性をもってまちづくりを行ってほしい。(50代男性・村上)